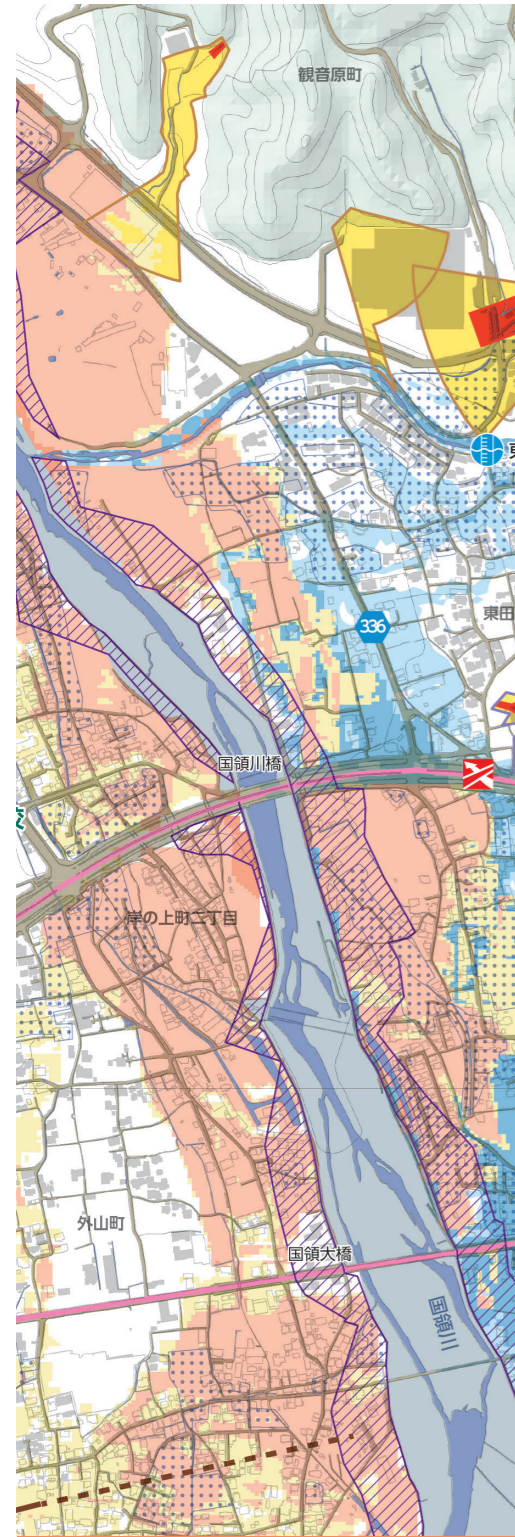


ハザードマップを確認しよう！

自分の住む地域の被害想定を知る

ハザードマップでは、地震や大雨により土砂災害や洪水が起きたときに想定される被害を確認することができます。自分や大切な人たちが普段いる場所の被害想定を確認し、状況に応じた避難をしましょう。

当てはまる □ にチェック



津波災害警戒区域

津波災害警戒区域は水位に関わらず
水平避難！
最大クラスの津波があった場合に想定される浸水の区域・水位

土砂災害警戒区域

山沿いは要注意！

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

家屋倒壊等氾濫想定区域

河川沿いは要注意！
早期の立ち退き避難が必要です！
堤防が削られたり水深・流速によって建物の倒壊が想定される区域

高潮・洪水・ため池浸水想定区域（浸水の深さ）

- 5.0~10.0m 未満: 2階の屋根以上が浸水
- 3.0~5.0m 未満: 2階の屋根まで浸水
- 0.5~3.0m 未満: 2階の床下まで浸水
- 0.5m 未満: 1階の床下まで浸水

浸水想定区域外でも、道路の冠水や内水氾濫が発生する可能性があるので注意しましょう。

正しい避難行動を確認しよう！

「いつ」「どこに」「どうやって」避難する？

土砂災害警戒区域や浸水の深さに応じてどのような避難行動をとるか、事前に決めておくことが大切です。「いつ」「どこに」「どうやって」避難するのか、家族で話し合っておきましょう。

